

石綿が原因で発症する病気とその予防は？

Q

石綿によってどのような病気が発症しますか。また、石綿を含有している建材が使われている建屋の中にいるだけで病気になるのでしょうか。石綿が原因で発症する病気を予防するには、どのような措置を講じればよいのでしょうか。

A

1. 石綿が原因で発症する病気

石綿によって起こされる病気とその部位を下記の図に、石綿のばく露から病気が発症するまでの期間を下記の表に示しました。

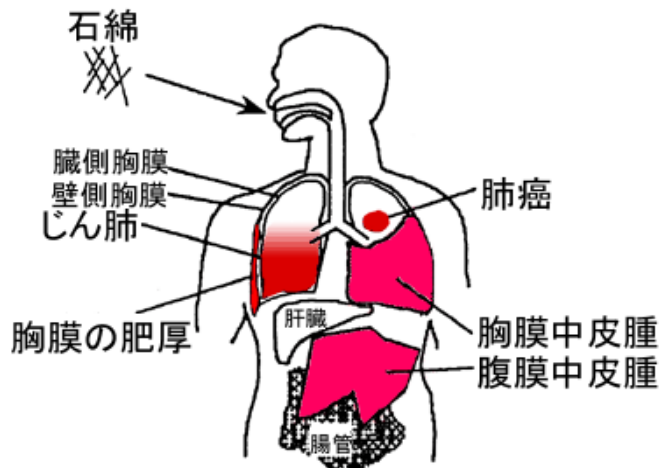


表. 石綿ばく露から病気発症までの期間

病 気	ばく露～ 発症期間
石 綿 肺 (じん肺)	10年以上
肺 が ん	15～40年
悪性中皮腫	20～50年

図. 石綿によって起こされる病気とその部位
(出典 石綿読本)

2. 石綿含有建材の有害性

石綿は、通常有害な化学物質とは異なり、そのものの存在自体が有害なのではなく、体内に吸い込まれた石綿が、上記の表に示すように長い期間を経て重大な病気を発症させるものです。従って、石綿含有建材中の石綿を吸い込まなければ、石綿が原因となる病気は起こりません。

3. 石綿が原因で発症する病気の予防

予防上のポイントは、①石綿を含有するものを使用しないこと、②石綿を含有しているものを除去すること、③石綿が飛散しないようにすることであり、これらの対策を講じることにより石綿を吸わないようにすることです。